

■ 修士論文要旨

企業経営システムの国際比較

— 政治学的アプローチを中心に —

Study on International Comparison of Enterprise Management Systems
-A Political Approach-

神奈川大学大学院 経営学研究科
国際経営専攻 博士前期課程

十原 正博

JUBARU, Masahiro

■ キーワード

コーポレート・ガバナンス、コーポレート・ガバナンス原則、企業経営システム、国家機構における三権分立、会社機構における三権分立

本論文の目的は、国家機構における権限と会社機構における権限を比較し、両者の関係性を明らかにするとともに、両者における権限を比較することで、今日会社制度における見直しを図ることである。本論文は、全4章で構成し、各章の内容は以下になる。

第1章では、「コーポレート・ガバナンスの基礎的考察」と題して、コーポレート・ガバナンスに関する基礎的な考察を行うとともに、次章以降における本論文の課題を明らかにした。具体的には、まず、コーポレート・ガバナンスに関する先行研究をもとに、コーポレート・ガバナンスの発端と目的や、コーポレート・ガバナンスの役割と機能を考察した。つぎに、コーポレート・ガバナンス原則の目的と体系を検証した。そして、コーポレート・ガバナンスの多角的考察として、コーポレート・ガバナンスは、経営学的な視点からだけでなく、より多角的な考察を必要とすることを提示した。以上を考察することにより、コーポレート・

ガバナンスの基礎的考察を行い、さらに、今日におけるコーポレート・ガバナンスの課題を明らかにした。

第2章では、「アメリカとイギリスにおける企業経営システム」と題して、アメリカ型企業経営システムと、イギリス型企業経営システムの特徴と課題を明らかにした。具体的には、まず、アメリカにおけるコーポレート・ガバナンス問題の背景、アメリカ型企業経営システムの概要を考察した。そして、アメリカ型企業経営システムにおける企業の実践例として、GMを例にあげ、アメリカ型企業経営システムの特徴を考察した。つぎに、イギリスにおけるコーポレート・ガバナンス問題の背景、イギリス型企業経営システムの概要を考察した。そして、イギリス型企業経営システムにおける企業の実践例として、アントファガスタを例にあげ、イギリス型企業経営システムの特徴を明らかにした。さらに、1節と2節の考察をもとに、アメリカ型企業経営システムとイギリス型企業経

営システムの特徴と課題を検証した。以上を考察することにより、アメリカ型企业経営システムとイギリス型企业経営システムにおける基礎的な考察を行った。

第3章では、「日本とドイツにおける企業経営システムの特徴と課題」と題して、日本型企业経営システムと、ドイツ型企业経営システムの特徴と課題を明らかにした。具体的には、まず、日本におけるコーポレート・ガバナンス問題の背景、日本型企业経営システムの概要を考察した。そして、日本型企业経営システムにおける企業の実践例として、トヨタとソニーを例にあげ、日本型企业経営システムの特徴を考察した。つぎに、ドイツにおけるコーポレート・ガバナンス問題の背景、ドイツ型企业経営システムの概要を考察した。そして、ドイツ型企业経営システムにおける企業の実践例として、ダイムラーを例にあげ、ドイツ型企业経営システムの特徴を明らかにした。さらに、1節と2節の考察をもとに、日本型企业経営システムとドイツ型企业経営システムの特徴と課題を検証した。以上を考察することにより、日本型企业経営システムとドイツ型企业経営システムにおける基礎的な考察を行った。

第4章では、「国家機構と会社機構の制度的発展と課題」と題して、国家機構と会社機構における権限を対比させることで、両者の関係性と課題を考察した。具体的には、まず、第1章で考察した内容をもとに、コーポレート・ガバナンスにおける課題を明らかにし、そして、経営学的な視点からだけでなく、より多角的な視点による考察の必要性を提示した。つぎに、第2章と第3章とで考察した内容をもとに、各国の企業経営システムの特徴と課題を提示した。そして、国家機構と会社機構における権限を考察し、それらを対比させることにより、会社機構における課題を明らかにした。さらに、新たな会社制度の構築の必要性を提示した。